

**2026年3月期
第1四半期 決算説明会
(2025年4月～6月)**



副社長 兼 CFO 齊藤 雅也

0 1 : 2026年3月期第 1 四半期 連結決算概要

0 2 : Appendix

全地域で増収。特にアジア・欧州が牽引し、2桁大幅増収 原価率の上昇に加え、販管費増により営業利益は微減益なるも 営業外収益の増加により経常利益以下は大幅増益に

売上高:81,964百万円 対前19.9%増、計画を上回る進捗

- 日本:「ロートV5」、新製品「Gyutto」、新製品が好調なリップクリーム等が好調に推移するも、「肌ラボ」、「メラノCC」の売上が鈍化。子会社のロートニッテンや天藤製薬が好調に推移
- アジア:ベトナム、インドネシアなどの東南アジアが引き続き好調に推移
ユーヤンサン・インターナショナル社(EYS)が連結効果で売上に寄与。ミャンマーは引き続き減収
- アメリカ:医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス・ラボラトリーズ社(ハイドロックス社)が引き続き好調に推移
ブラジルの連結子会社も増収に貢献
- 欧州:モノ社が連結効果で売上に寄与。加えてポーランドのダクス・コスメティクス社(DAX社)が好調に推移

営業利益:11,699百万円 対前0.8%減(為替影響を除くと実質0.3%の増益)、計画を上回る進捗

EBITDAは対前年12.5%の増益

- 日本:原価率の上昇に加え販管費が増加したことにより減益
- 海外:アジアが大幅増益

関税影響による想定リスク

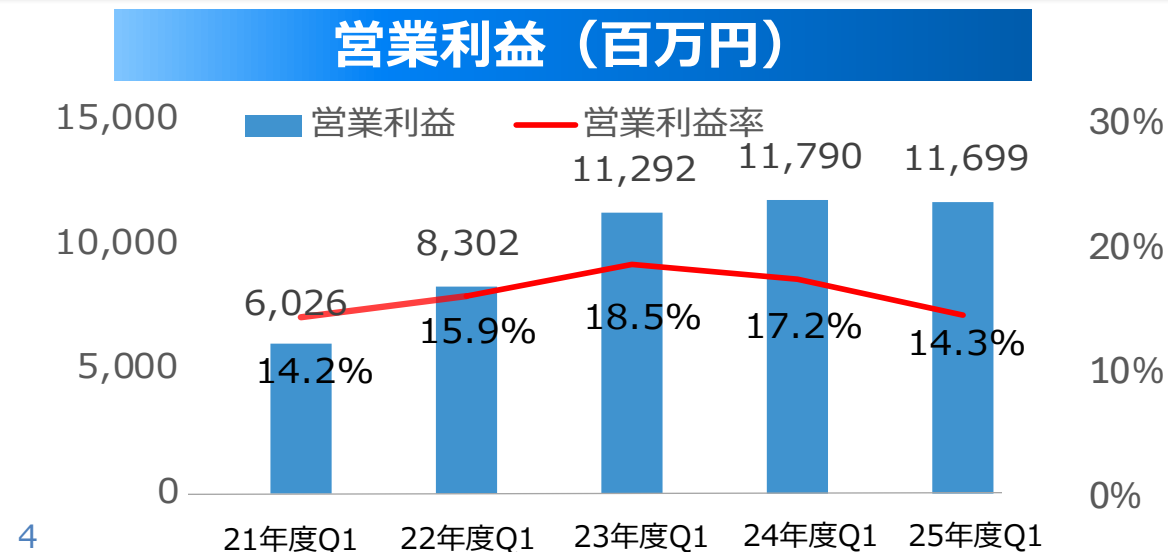
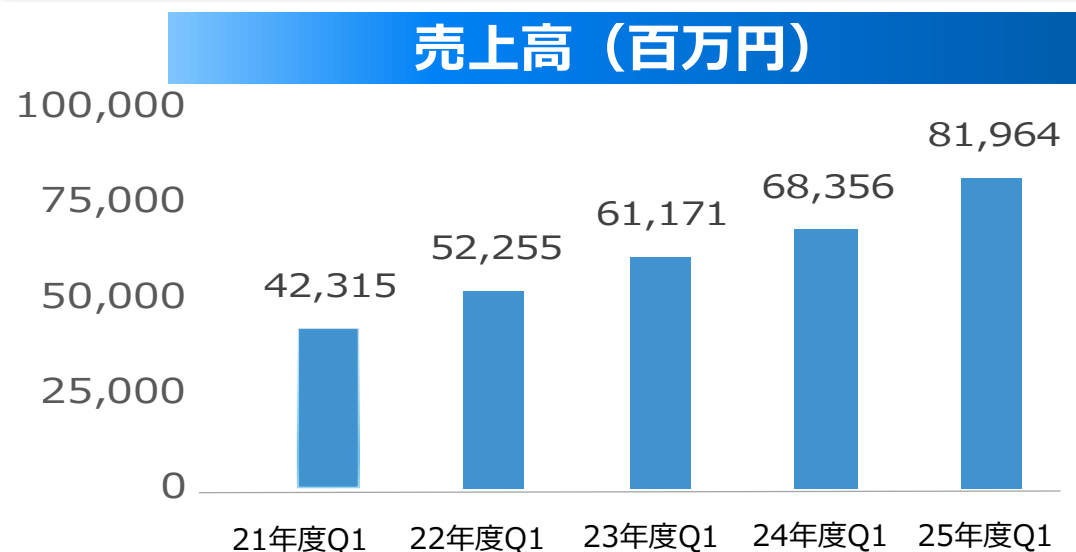
現地製造現地販売を基本としており、関税の影響は軽微と想定

通期業績予想(経常利益以下)を上方修正

連結業績の推移

2025年度の通期予想 売上高3,345億円 営業利益390億円

	2023年度 Q1	2024年度 Q1	2025年度 Q1	通期予想
売上高（百万円）	61,171	68,356	81,964	334,500
営業利益（百万円）	11,292	11,790	11,699	39,000
営業利益率	18.5%	17.2%	14.3%	11.7%
EBITDA（百万円）	13,304	14,037	15,786	56,161
EBITDAマージン	21.7%	20.5%	19.3%	16.8%



連結損益

(百万円)	2024年度 Q1	売上比	2025年度 Q1	売上比	対前年 (%)
売上高	68,356	100	81,964	100.0	19.9
売上総利益	39,076	57.2	45,852	55.9	17.3
販管費	27,285	39.9	34,153	41.7	25.2
販促費	3,615	5.3	4,318	5.3	19.4
広告費	7,004	10.2	7,938	9.7	13.3
研究開発費	3,626	5.3	3,386	4.1	▲6.6
その他	13,039	19.1	18,509	22.6	41.9
営業利益	11,790	17.2	11,699	14.3	▲0.8
経常利益	12,273	18.0	16,127	19.7	31.4
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,482	12.4	11,769	14.4	38.7
EBITDA	14,037	20.5	15,786	19.3	12.5

- ・全地域で増収達成により大幅増収
- ・為替レート：
 - USドル146.16円（前期153.14円）
 - 中国元20.95円（前期20.63円）
- ・為替の影響：
 - 売上△6.3億円、営業利益△1.2億円の影響
- ・EYS：
 - のれん償却3.9億円
 - 商標権/その他無形固定資産の償却費2.2億円
 - のれん等償却後の黒字は確保
- ・原価率：1.3ポイント上昇
 - （EYS、クオリテックファーマ（QTP）、天藤製薬、英国の影響大）
- ・EYS、モノ社取得による減価償却費増と人件費増により販管費が増加
- ・受取配当金の計上により営業外収益増加

2桁大幅増収

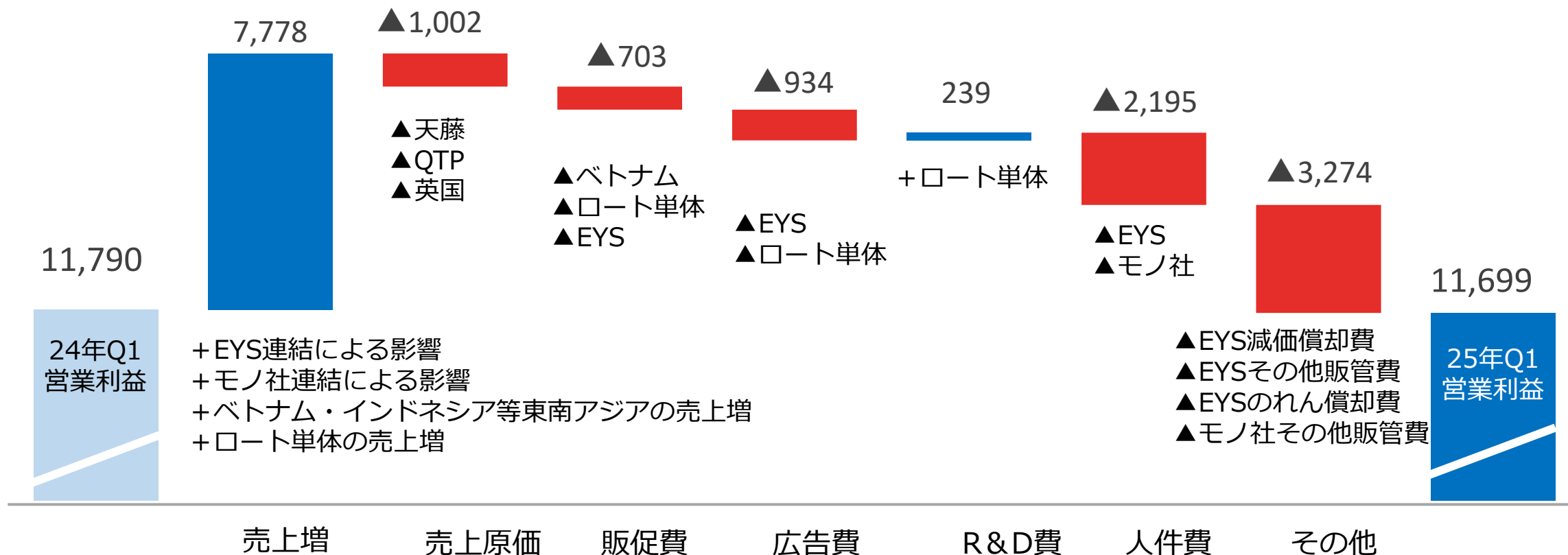
原価率の上昇に加え販管費増により営業利益は微減益

売上・営業利益共に計画を上回る進捗

営業外収益の増加により経常利益、当期純利益ともに大幅増益

営業利益増減の要因（前年同期比較）

単位：百万円



セグメント別売上マトリックス

	日本		アジア		アメリカ		ヨーロッパ		その他		海外計		合計	
	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率	(百万円)	増減率
アイケア	5,272	5.8	3,053	▲11.5	551	▲19.9	45	▲25.0	0	-	3,651	▲13.0	8,923	▲2.8
スキンケア	22,503	0.7	15,558	15.3	3,438	8.4	3,970	5.1	731	▲0.5	23,698	11.9	46,201	6.1
内服・食品	6,014	0.2	9,737	4,420	6	144.5	24	▲17.5	113	24.2	9,882	2810	15,897	150.7
メディカル	6,459	▲3.2	1,016	240.7	904	▲4.6	548	56,408	0	-	2,469	97.9	8,928	12.7
その他	508	▲4.1	378	▲40.2	143	▲29.9	983	5,678	0	-	1,504	76.2	2,013	45.4
合計	40,757	0.6	29,743	64.4	5,044	0.6	5,572	43.3	845	2.2	41,206	48.1	81,964	19.9
通期予算	171,200	3.8	116,000	15.6	20,200	▲2.7	23,800	24.2	3,300	▲2.0	163,300	13.7	334,500	8.4
進捗率(%)	23.8		25.6		25.0		23.4		25.6		25.2		24.5	

【日本】

- ・アイケア増収：ロート単体でコンタクト用目薬、若者用目薬の増収
- ・メディカル減収：QTP減収

【アジア】

- ・アイケア減収：中国・香港・ミャンマー減収
- ・スキンケア増収：ベトナム・インドネシア他地域増収
- ・内服・食品増収：EYS連結効果
- ・メディカル増収：EYS連結効果

【アメリカ】

- ・スキンケア増収：ブラジルで肌ラボ等増収
- ・メディカル減収：ハイドロックス社の医療機関向の減収
同社全体では増収
為替の影響も

【ヨーロッパ】

- ・スキンケア増収：各国で消炎鎮痛剤増収、Hadalabo Tokyo等好調なDAX社増収
- ・メディカル増収：モノ社の連結効果
- ・その他増収：モノ社の連結効果

セグメント別営業利益

(百万円)	2024年度 Q1	構成比 (%)	2025年度 Q1	構成比 (%)	前期比 (%)	予算	進捗率 (%)
日本	6,565	55.7	6,310	53.9	▲3.9	21,700	29.1
アジア	4,320	36.6	4,777	40.8	10.6	12,800	37.3
アメリカ	304	2.6	184	1.6	▲39.4	1,400	13.2
ヨーロッパ	356	3.0	134	1.2	▲62.2	2,000	6.7
その他	56	0.5	74	0.6	31.4	300	24.7
調整額	187	1.6	217	1.9	16.2	800	27.2
合計	11,790	100	11,699	100	▲0.8	39,000	30.0

売上高：407億57百万円
営業利益：63億10百万円

前期比 +0.6%
同 ▲3.9%

売上高407.57億円：計画を上回る進捗

- コンタクト用目薬、若者用目薬などアイケア好調
- サプリメントの「ロートV5」、新製品のヘアマスク「Gyutto」、新製品のリップクリーム等が好調に推移
- インバウンド需要過去最高を更新（対前約2%増）
- ロート単体だけでなく、ロートニッテン、天藤製薬も増収に寄与
- ロート単体：1桁前半%増収、QTP：1桁半ば%減収、ロートニッテン：1桁後半%増収、天藤製薬：2桁%増収

営業利益：63.10億円：計画を上回る進捗

- ロート単体の原価率はほぼ横ばい、QTP、天藤製薬など子会社の原価率が上昇
- 原価率の上昇に加え販売費及び一般管理費が増加したことにより減益
- ロート単体：ほぼフラット、QTP：減益、ロートニッテン：増益、天藤製薬：減益



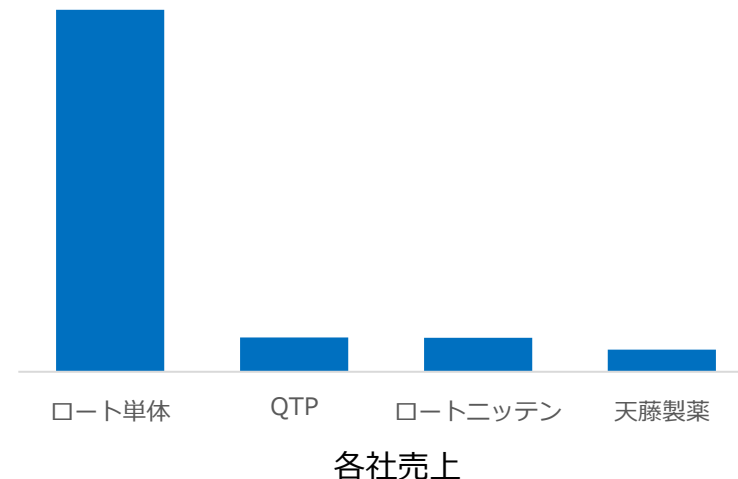
ロートV5 目×睡眠Wケアを新発売



「Gyutto」数々の賞を受賞！
昨年発売と同時に品切れ
ダメージによる大人のクセ髪に



大人気のプランパーリップ



売上高：297億43百万円	前期比	+64.4%
営業利益：47億77百万円	同	+10.6%

売上高297.43億円：計画を上回る進捗

- ベトナム、インドネシアなど東南アジアが好調を持続
- EYSが連結効果で売上に寄与するもシンガポール・香港市場減速の影響を受ける
EYS売上：現地通貨ベース対前1桁後半%減収、計画未達
- ミャンマーが輸入規制の厳格化の影響を受けて原材料や製品の輸入が困難な状況が続き減収
- 「肌ラボ」、フケ抑制シャンプー「セルサン」、リップクリーム、「アクネス」等が好調に推移

営業利益47.77億円：計画を上回る進捗

- EYSのれん償却（3.9億円）、商標権/その他無形固定資産の償却費（2.2億円）
EYS営業利益（のれん償却前）：現地通貨ベース対前2桁%減収、計画未達
（のれん等償却後の黒字は確保）
- 東南アジアの増収が寄与して計画を上回る増益

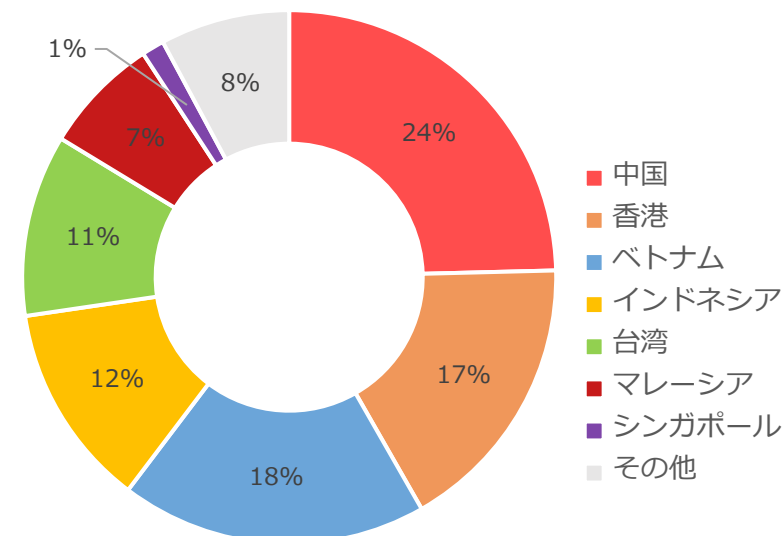


ベトナムでは「肌ラボ」発売15周年キャンペーンを行い新規ユーザーの獲得に成功



50の恵のブランド力を活かし「50 Megumi Menヘアサプリメント」を香港で新発売

アジアの国別売上構成比（EYS除く）



売上高：50億44百万円
営業利益：1億84百万円

前期比 +0.6%
同 ▲39.4%

売上高50.44億円：計画を上回る進捗

- 為替の影響 ▲3.4億円
- 医療用消毒薬等を製造・販売するハイドロックス社が好調に推移
- ブラジル子会社も「肌ラボ」等スキンケアが好調で増収に寄与
- ハイドロックス社：2桁%増収、オフサルモス社：2桁%増収、メンソレータムブラジル：2桁%増収（現地通貨ベース）

営業利益1.84億円：計画を上回る進捗

- 為替の影響 ▲0.2億円
- 販売費及び一般管理費の増加により減益に
- ハイドロックス社増益、オフサルモス社増益



ハイドロックス社の医療機関向消毒剤



ワシントンDCにて4月に「ハダラボTokyo」で
Cherry Blossom Eventを実施
大盛況で増収に貢献



「肌ラボ」はブラジルオンラインストア
「Mercado Livre」に公式ストアを開設し、販路を拡大

ヨーロッパ 大幅な増収・減益

売上高：55億72百万円
営業利益：1億34百万円

前期比 +43.3%
同 ▲62.2%

売上高55.72億円：計画を上回る進捗

- 「Perfecta」や販売国を拡大した「Hadalabo Tokyo」が好調なDAX社が増収に寄与
- モノ社が連結効果で増収に寄与
- DAX社：2桁%増収（現地通貨ベース）

営業利益1.34億円：計画未達

- 英国において消炎鎮痛剤の容器供給業者の倒産による生産量低下と代替業者の単価上昇により原価率が上昇し減益
- DAX社：1桁前半%増益（現地通貨ベース）



3月に新製品「Coldamaris Protect」点眼液を発売
今後、点鼻薬等主力事業を欧州、他地域へ展開予定
モノ社の無菌生産ラインと薬事力をベースに欧州にロートのアイケアを広げていく計画



「Hadalabo Tokyo」は英国やポーランドに加えて、トルコ小売大手Gratisとの販売促進や、スペイン、南アフリカでの展開など新規市場の伸びが成長ドライバーに

2026年3月期 業績予想

- 国内は継続した物価上昇による家計の節約志向の高まりが懸念されるものの賃上げや設備投資の拡大、インバウンド需要の増加などを背景に、緩やかな持ち直し基調を想定
- 海外では通商政策の不確実性の高まり等により、個人消費環境の厳しい状況が続くと想定
- 2026年3月期も売上は過去最高を更新
- 為替の影響があるものの増益を確保する予定
- 第1四半期に出た受取配当金を連結業績予想に反映させ、**連結業績予想を修正**
経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回発表を上回る
- 日本
 - ✓中長期の持続的成長に向けて先行投資
 - ✓インバウンドは増加するものの国内消費は手堅く推移と見込む
 - ✓QTP等子会社が減収減益予定
- 海外
 - ✓円高進行予想
 - ✓中国、香港市場が増収に転じる
 - ✓ベトナム・インドネシア等東南アジアが引き続き成長を牽引予定
 - ✓EYS、モノ社の通期を連結範囲に含める
- 22期連続増配予定、配当性向30.1%を予定

業績見通し（上方修正）

- 売上は過去最高を更新予定
- 経常利益：+25億円、純利益：+4億円を上乗せ
- 為替の影響：売上△131億円、営業利益△15億円
- EBITDAマージン 16.8%予定

	2024年度	2025年度通期予想				2025年度	
(百万円)	実績	修正予想	売上比	対前年 (%)	対当初予想 増減額	当初予想	対前年 (%)
売上高	308,625	334,500	100.0	8.4	-	334,500	8.4
営業利益	38,234	39,000	11.7	2.0	-	39,000	2.0
経常利益	39,725	43,000	12.9	8.2	2,500	40,500	1.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	30,841	31,500	9.4	2.1	400	31,100	0.8

USD/円
元/円

152.61
21.02

142.0
19.0

※前期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、対前年 (%) は、2025年度Q1において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した 遡及修正後の数値で算出

セグメント別売上予想（修正なし）

- アメリカは△20億円の為替影響を受けて減収
- アジアは為替影響△102億円、ヨーロッパは△6億円でも増収

（百万円）	2024年度	売上比	2025年度	売上比	対前年（%）
売上高	308,625	100.0	334,500	100.0	8.4
日本	164,988	53.5	171,200	51.2	3.8
アジア	100,336	32.5	116,000	34.7	15.6
アメリカ	20,769	6.7	20,200	6.0	▲2.7
ヨーロッパ	19,163	6.2	23,800	7.1	24.2
その他	3,366	1.1	3,300	1.0	▲2.0
為替（ドル/円）	152.61		142.00		

セグメント別営業利益予想（修正なし）

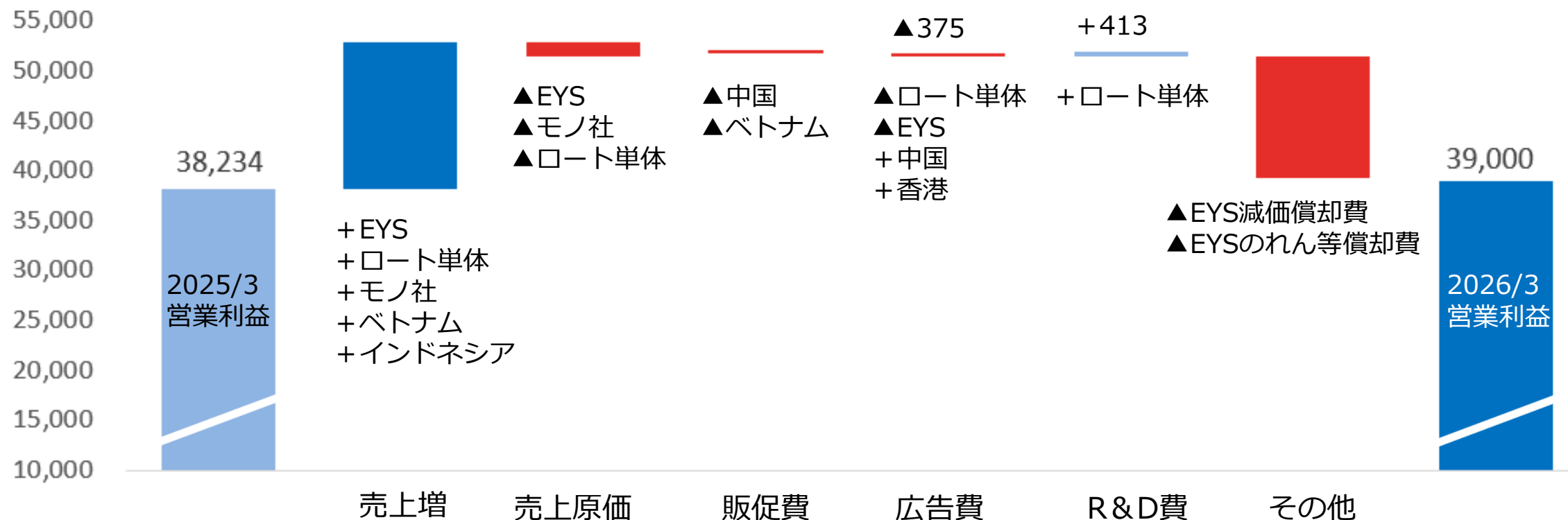
- アジア、ヨーロッパが増益
- 日本はQTP等子会社の影響により減益
- 為替の影響：アメリカ・ヨーロッパは△ 1 億円、アジア△ 12億

（百万円）	2024年度	構成比	2025年度	構成比	対前年（%）
営業利益	38,234	100.0	39,000	100.0	2.0
日本	22,453	57.7	21,700	55.6	▲3.4
アジア	11,595	30.3	12,800	32.8	10.4
アメリカ	1,542	4.0	1,400	3.6	▲9.2
ヨーロッパ	1,414	3.7	2,000	5.1	41.4
その他	354	0.9	300	0.8	▲15.3
調整額	874	2.2	800	2.1	▲8.5
為替（ドル/円）	152.61		142.00		

※前期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、対前年（%）は、2025年度Q1において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した 遡及修正後の数値で算出

2025年度 営業利益増減の要因見通し

単位：百万円



※前期の営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、対前年（％）は、2025年度Q1において行った企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を反映した 遡及修正後の数値で算出

ロートサイエンスを進化させ、セルフケアのコア事業の収益最大化。
プロフェッショナルケアへの基盤を構築し、Well-beingの輪を広げ、未来を創造する。

課 題

事業収益力の
強化

技術商品力の
深化と拡充

メディカル事業の
基盤構築

戦 略

セルフケア事業のグローバル展開・新分野への拡大

- アイケア・スキンケアの新価値を国内外へ拡大
- ヘアケア・フェムケアなどの新分野で地位確立

Well-beingなライフスタイルの提供

- フィットサイエンス^{*}の素材研究からサプリメント導入
- 内服・食品での胃腸ケア・予後ケア、E Y Sとのシナジー

医療事業ファンデーション・ネットワークの確立

- ケミカルからバイオ・細胞加工までのCDMO拡大
- 眼科事業のグループ内連携、皮膚科向け化粧品
- 医療用眼科新薬・再生医療等医薬品の開発

*フィットサイエンスとはロート製薬が提唱する、自然界の力を科学的に解明し、社会に貢献する新たな事業戦略です。特に、自然素材の活性や機能（フィットパワー）に着目し、地域資源や技術を活用して、持続可能な社会づくりを目指しています。

買収後のEYS経営改善とグループ内シナジー

□EYSの自然由来素材と腸内環境の関係性に関するエビデンスを構築

8月6日技術リリース公開

https://www.rohto.co.jp/news/release/2025/0801_01/

□EYSとのシナジー効果

①原価削減

✓ Value Chain Managementの改善。内製化率向上による粗利率の改善（前年同期、計画を上回る）

②固定費削減による利益率の向上を目指す

✓ グループ機能のスリム化による人件費の削減

✓ 25年上期で15店舗程度の賃料削減を実現

✓ 在庫削減・倉庫スペースの見直し

③売上向上策

✓ SKUを削減し主要アイテムに資源を集中

✓ 店舗・接客教育の改善等

✓ メンソレータム社とのジョイント・プロモーションの実施

④共同R&Dによる新製品の国内、海外への導入を計画中

⑤EYS既存商品の展開国拡大

✓ 2025年下期に国内通販でパイロット販売（万博シンガポールパビリオンでEYSのPR）

✓ オーストラリアのコストコで瓶詰め燕の巣の販売開始

✓ アメリカ、ベトナム等東南アジアで展開を検討中

□売上伸長・稼働率引き上げに伴う利益率向上を見込む

マーケットシェア



“Natural Health & Wellness”をキーワードに
幅広い製品を展開

食品



TCMサプリメント



TCM(医薬品)



万博でロートの再生医療・アイケアのビジョンを伝える **Rohto**

大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオンにて

「再生医療が身近になった2050年のミライ社会」を体験
～パーソナライズされた細胞治療が身近な選択肢になる～



近未来で実装される次世代の自動培養装置

- ・ 特長1：1台で採取した組織から幹細胞を取り出し、細胞培養までを完全自動化
- ・ 特長2：小型化により、省スペースでの細胞培養が実現

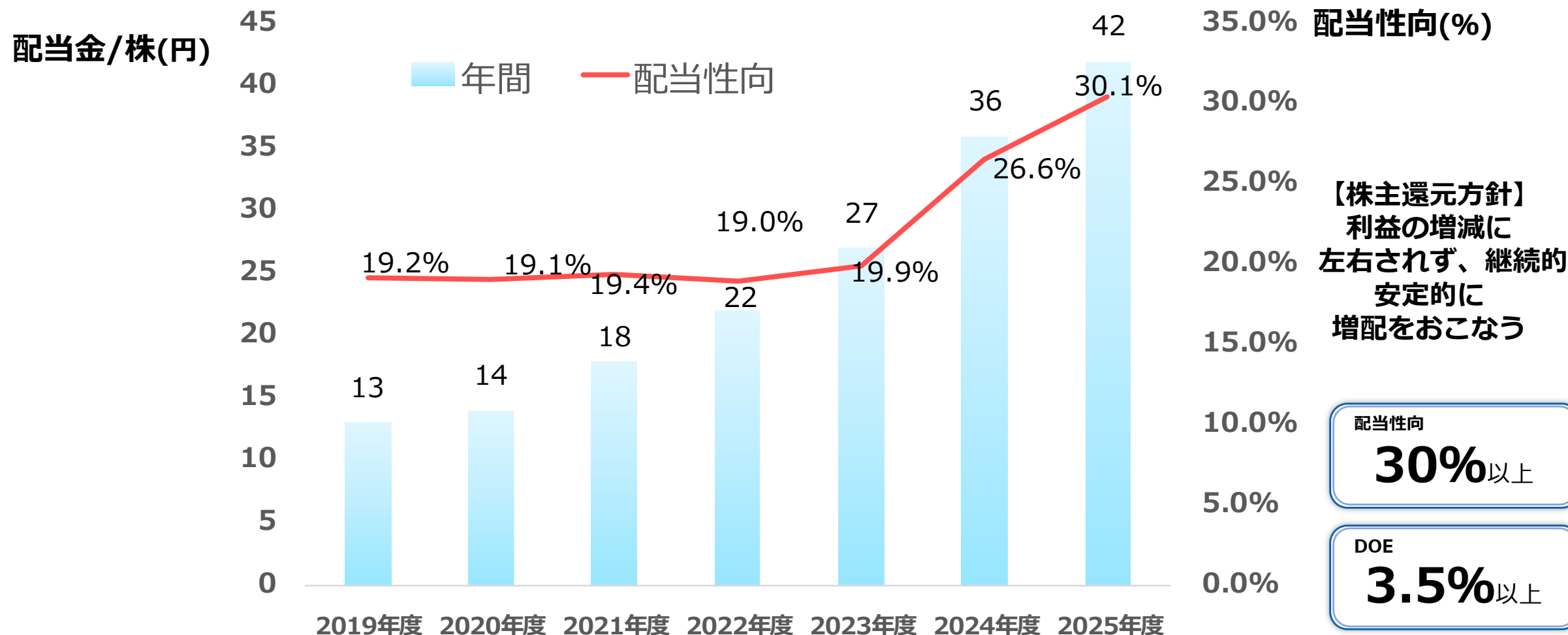


“ミライのアイケア”の可能性を展示
～パーソナルヘルスレコードを活用した
ヘルスケアの可能性を見せる～



株主還元（変更なし）

中間配当21円、期末配当21円 年間42円、配当性向30.1%予定



Rohto

Appendix

**世界の人々に商品やサービスを通じて健康をお届けすることによって、
当社を取り巻くすべての人や社会を「Well-being」へと導き、
明日の世界を元気にすること。**

経営理念

1. 豊かで幸せな生活を送るための心身の健康に貢献し続けることがロートの最大の責務と捉え、その実現のために長期視点での経営と価値創出に努める
2. ロートは、社会の公器としての使命を自覚し、ロートを取りまく全ての人達と協働して社会課題を解決し、これにより得られた便益を共有する

ロート製薬は、世界の人々が Well-being を実感できる時間が少しでも長くなるように、

医薬品、スキンケアに加え、さまざまな事業で イノベーションを起こし幅広く「つなげていく」

それを実現するために、社内外の仲間同士を、組織と組織をしっかり「つなげていく」

そして信頼の連鎖の上に人材を育成し、一体感ある組織を作り上げ、人々の更なる Well-being に「つなげていく」

事業活動を通じて世界の人々のWell-beingに貢献するとともに、
健康で幸せに過ごすことができる持続可能な社会の実現を目指しています。

ロートは、ハートだ。



各国の売上高成長率（現地通貨ベース）

2024年（前年比）

2025年（前年比）

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間	1Q
ロート単体	+10%台前半	+1桁前半	+1桁後半	▲1桁前半	+1桁半ば	+1桁前半
中国	+1桁半ば	▲1桁半ば	▲1桁前半	▲1桁後半	▲1桁半ば	▲1桁前半
香港	+1桁前半	▲10%台前半	▲1桁半ば	▲1桁前半	▲1桁半ば	+1桁前半
台湾	+1桁半ば	+1桁後半	+1桁半ば	+1桁後半	+1桁半ば	+10%台前半
ベトナム	+1桁後半	+20%台前半	+20%台前半	▲1桁前半	+10%台前半	+10%台前半
インドネシア	+30%台半ば	+1桁後半	+10%台半ば	+10%台後半	+10%台後半	+30%台半ば

2025年第1四半期 国内主要ブランド別売上



ドラッグストア基礎化粧品ブランドNo. 1 ※



前期比: +1%
構成比: 15%

New



New



前期比: ▲15%
構成比: 5%

9/10「オバジX バイタライズ リフトクリーム」リニューアル



リップクリーム

New



New



前期比: +31%
構成比: 3%



日焼け止め



前期比: ▲10%
構成比: 12%

8/30化粧水リニューアル



New



前期比: ▲15%
構成比: 9%



New



前期比: +17%
構成比: 8%

※前期比: 売上の増減率 (2025年度Q1 vs 2024年度Q1)

※構成比: ロート単体に占める各ブランドの売上比

目薬

前期比: ▲12%
構成比: 10%



前期比: +24%
構成比: 11%



日焼け止め



前期比: ▲8%
構成比: 11%



Selsun

前期比: +37%
構成比: 6%



男性化粧品

Men^{tholatum}
曼秀雷敦男士Acnes[®]

リップクリーム



50 MEGUMI

前期比: +25%
構成比: 3%



前期比: +14%
構成比: 5%



前期比: +21%
構成比: 7%



前期比: +22%
構成比: 4%



※前期比: 売上の増減率 (2025年度Q1 vs 2024年度Q1)
※構成比: アジアに占める各ブランドの売上比

■ 医療用点眼薬

2050年の近視人口は50億人を超え、社会課題となる近視進行へ効果を示すROH-001がP2ステージへ。

医療用眼科領域パイプライン一覧 (2025年5月時点)					ステージ					目標※1
領域	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	非臨床	P1	P2	P3	申請	
医療用 眼科	ROH-101	CMV※2 角膜内皮炎	日本	Théa、 (株)エムズサイエンス						▶ 2026年承認
	ROH-201	ドライアイ※3	日本	日本たばこ産業(株)						▶ 2028年承認
	ROH-202	眼科用治療剤	日本	(株)デ・ウエスタン・ セラピテクス研究所						-
	ROH-001	近視進行抑制	日本	(株)坪田ラボ						-

※1 目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※2 サイトメガロウイルス ※3 シェーグレン症候群患者を含めたドライアイ患者 ・ ROH-101 : P3 終了・ ROH-201 : P2b 終了・ ROH-001 : P1 終了

■ 再生医療等製品

変形性関節症、重症心不全はP2のステージへ。2030年以降の新薬導入へ。

再生医療パイプライン一覧 (2025年5月時点)						ステージ					現在のステージ 終了目標※1
領域	細胞種	コード	予定適応症等	予定地域	連携先	非臨床	P1	P2	P3	申請	
再生 医療	ヒト脂肪由来幹細胞	ADR-001	肝硬変	日本	塩野義製薬(株)						(P2終了)
		ADR-002K	重症心不全	日本							▶ 2029年度
		ADR-001	腎疾患	日本							(P2準備中)
		ADR-001	重症下肢虚血	日本							▶ 2025年度
		ADR-001	肺線維症	日本							▶ 2025年度
	ヒト臍帯由来幹細胞	UDI-001	神経変性疾患	日本							(P1終了)
	軟骨細胞キット※2		外傷性軟骨欠損	日本							(申請準備中)
			変形性関節症	日本							▶ 2027年度

※1 目標は連携先との合意ではない当社の目標 ※2 インターステム社 (当社子会社)

- 本資料は、投資判断の参考として、弊社の現状を理解して頂くために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、作成時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 本資料には、医薬品等（開発品を含む）に関する情報が含まれていますが、これらは宣伝広告や医学的アドバイスを目的としているものではありません。
- 投資を行う際は、ご自身の判断において行っていただきますようお願いいたします。
- 本資料を利用することにより生じた、いかなるトラブルおよび損失、損害に対して、弊社は一切責任を負いません。

Rohto